

**令和 5 年度度
審判講習会**

JAAF
FUKUI

**一般財団法人
福井陸上競技協会**

～日程～

4月1日〔土〕 至 9.98スタジアム ※昼食は各自で準備ください

8:30～8:55	受付	
9:00～10:00	講義研修	
10:30～16:00	実技研修	兼 公認記録会

★10:00～11:00 ロビーにて審判登録相談所開設
操作方法が分からない方は活用してください

4月9日〔日〕 至 敦賀陸上競技場 ※昼食は各自で準備ください

8:30～8:55	受付	
9:00～10:00	講義研修	
10:00～13:00	実技研修	兼 公認記録会

～令和4年度感謝状～（敬称略）

所属	福井	福井	鯖江
名前	佐藤 信長	中南 力	橋本 智之

～令和4年度福井陸上競技協会審判員功績賞～（敬称略）

プラチナ	鯖江			
	丸田 時雄			
ゴールド	坂井	福井		
	大和 真一	松田 文博		
シルバー	福井	福井	越前	高体連
	小川 忍	長田 正博	小松 つき代	長谷 俊哉
	高体連	鯖江		
	橋本 洋	辻垣内 秀行		
ブロンズ	高体連	高体連	高体連	
	五十嵐 基博	遠藤 伸一	桑原 崇志	

～令和5年度審判昇級者～（敬称略）

= S級昇格者 =

所属	越前	高体連	高体連
名前	高畑 昌太	橋本 洋	長谷 俊哉

= A級昇格者 =

所属	鯖江	中体連	中体連
名前	下浜 岩男	白崎 繁男	西川 諭

=大会日程の変更について=

10月15日(日)障スポふくい記録会 → 10月21日(土)に変更

=審判関係の改定について=

①審判旅費規程変更について

あ)「自宅→競技場(片道)」で距離計算をして旅費を支給(最低¥1000は維持)

～15km	¥1000	15km～	¥2000	50km～	¥3000
		80km～	¥4000	110km～	¥5000

★グーグルマップにて距離を測定しました

い)半日参加(午前のみ、午後のみ)の審判員には半額支給

≪端数切り上げ1000円単位≫

②S級の審判登録費の改定(日本陸連登録費¥1000を含む)

登録料を¥7000とします

★現状は¥9000 A級¥4000 B級¥3000

★A級はH27年に改定済

③報奨制度の導入

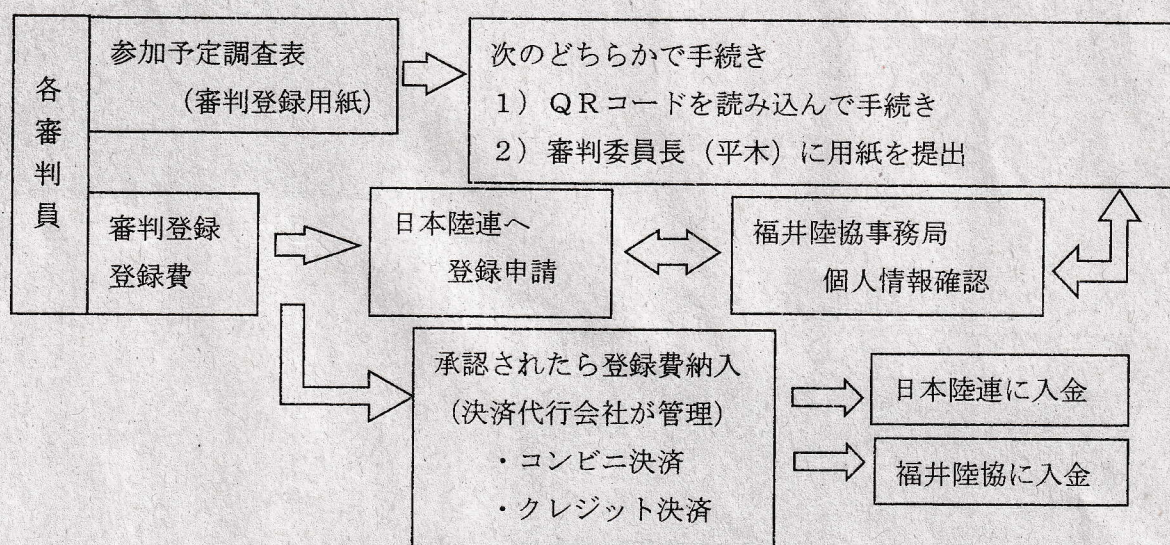
通算40回参加毎に「審判ポロシャツ1枚」を贈呈

★審判手帳にてのみ確認します。未提出分はカウントされません。

=審判登録費の納入について=

4月28日までに納入して下さい

今年度より、**各自で2つの登録作業**をしていただきます。



★日本陸連システムの入力方法で不具合があり、申し訳ありませんでした★

R5.2/12 全国競技運営責任者会議（リモート会議）より

① 施設用器具に関して報告があったもの

○ 300mH設置の注意事項

- ・ 競技場での設置の義務付けはない。設置後は、検定が必要。
- ・ 標識タイルでない費用負担の少ない表示方法で良い。
- ・ マーキングがない競技場では、競技会時に設置位置をマーキングが必要。
マーキング方法は検定員、技術役員が講習済み。（福井県だと前田さん）
（県営、鯖江、敦賀はマーキング有り）
- ・ ハードルの高さは、男子 914mm(U20)、838mm(U18)、女子 762mm

【参考】150m、145mのスタート位置

150mスタート … 300mHのハードル 4 台目と同じ

145mスタート … 400mHのハードル 7 台目と同じ

○ 障害物(3000m障害)の対応 (TR23.5)

- ・ 障害物の高さにU18 男子(838m(±3mm))の規格が2020ルールに新たに定められた。
- ・ 義務付けではなく、更新する以外の対応はしていない。

○ 障害物競走等、グループスタートにおける代用縁石の置き方

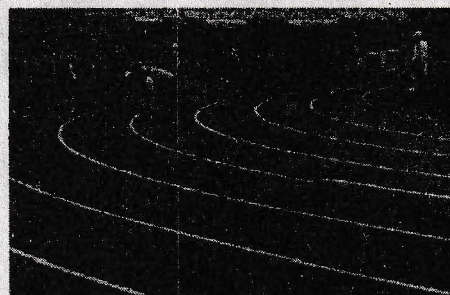
- ・ 競技規則に従い、全線に置く必要がある。
- ・ グループスタートラインから10m程度は縁石を置かず、コーンを

①スタートライン

②縁石のはじめ

③中間

に設置する。



スタート付近のコーン設置

- ・ 走高跳、やり投と重なる時は、その部分をあけコーンを設置。



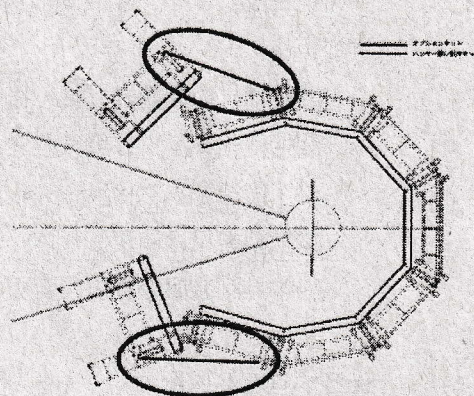
やり投助走路のコーン設置

○ 棒高跳ボックスの設置について

- ・ 当時は角を現地で丸めたものも可としたが、年数も経ち、検定において対応した検定品のボックスとするようにしている。競技会では規格にあったものを利用すること。

○ 投擲囲いの安全確保

- ・ WA規格の囲いは、本体と前パネルが一体となっていて隙間がないが、従来型はどうしても隙間が生じる。大会時に、右投げ選手→左投げ選手用にゲージを移動し、また戻す作業を繰り返す間にその隙間が生じる可能性がある。
- ・ 防止のために補助ネットを張る方法が提案され実施されている。
- ・ このような安全に対する対応が、今後も重要になるとのこと。



② 2022年度競技規則修改のポイント

今年度は競技運営上（審判をする上で）、規則の内容で大きく変更することではなく、内容の明文化が主な修改のポイントである。

○ OWAによる競技会・記録の大枠の考え方【追加】(TR11.1)

（国内）本連盟規則に基づいて準備された競技場で、かつ本連盟が認めた用器具を競技者が使った時でなければ有効としない（変更なし）

（国際）ワールドランキングコンペティションで達成された記録のみを有効とする（追加）

→ 仮にワールドランキングコンペティション対象外の国内競技会で世界記録が生まれたら？

▷ 日本記録：対象

▶ 世界記録：対象外

○ 世界記録・日本記録の対象種目の追加【追加】(CR32)

「世界記録」

対象 男子・女子ともに

道路競技 1マイル

初回認定 2023年9月1日

計時方法 写真判定またはトランスポンダー

「日本記録」

対象 男子・女子ともに

道路競技 1マイル

初回認定 2023年12月31日

計時方法 写真判定またはトランスポンダー

※現時点で「道路1マイル」の検定済コースは2カ所

○光波（ビデオ）計測装置の正常動作の確認【変更】（CR28）

（現状）

- ・競技種目の開始前のみ（終了後は不要）
- ・鋼鉄製巻尺と光波計測装置の計測値の一致を確認
- ・科学計測装置確認書（開始前チェックのみ）
- ・チェックポイントにゴルフのティー等でマークをすることを推奨

（変更後）

- ・競技種目の開始前、終了後の両方
- ・開始前チェックは鋼鉄製巻尺を使用して計測
終了後チェックはマークしたティー等の距離が、開始前計測値と同じであることを確認
(鋼鉄製巻尺は使用しない)
- ・科学計測装置確認書（変更：開始前・終了後チェック）

★日本陸連から★

毎年、光波計測でのトラブル事例の報告を受けるが、より重要なのは基本動作の徹底

▷正しく設置（平坦で地面が安定した場所、三脚のズレ防止）

▷一度セットした計測装置は動かさない（操作盤以外に触れない）

▷着地点側の痕跡の確実なチェック→着地場所の整備・2名（複数名）での指差確認

▷バックアップ用の鋼鉄製巻尺の用意

○競技用靴に関する規定の再確認①（TR5.2）

▷規定そのものに変更はなし

▷ルールブック本文に2024年11月1日から適用の靴底厚も記載【追加】

影響が出るのは、

- ・トラック : 800m以上、障害物競走 25mm → 20mm
- ・フィールド : 三段跳 25mm → 20mm
- ・クロスカントリー : スパイク 25mm → 20mm

○競技用靴・靴底厚さ表A 【2024年10月31日まで有効】

種類	最大厚さ	要件・備考
フィールド (三段跳除く)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

トラック種目 (800m未満の種目、 ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、 障害物競走を含む)	25mm	リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25mmのスパイクシューズか 40mmのノンスパイクシューズ	競技者はスパイクシューズもしくはノンスパイクシューズを履くことができる。
道路競技（競走、競歩）	40mm	
マウンテンレース トレイルレース	制限なし	

○ 競技用靴・靴底厚さ表B 【2024年11月1日から有効】 追加記載された表

種類	最大厚さ	要件・備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mmスパイクシューズまたは ノンスパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mmスパイクシューズまたは ノンスパイクシューズ	全跳躍種目で、本規定10.3および10.4に記載のとおり、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
道路競技（競走・競歩）	40mm	
クロスカントリー	20mmスパイクシューズか 40mmノンスパイクシューズ	競技者はスパイクシューズもしくはノンスパイクシューズを履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは20mmを超えてはならない。ノンスパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
マウンテンレース トレイルレース	制限なし	

※「日本中体連専門部・日本高体連専門部・日本学生陸上連合とその下部組織が主催・共催する競技会、および各加盟団体の主催する競技会で主催者が適当と判断した競技会」はWA規則の一部適用除外が可能

除外対象 : フィールド競技用靴における靴底厚について適用除外

期 間 : 2024年10月31日まで

記録の取扱い : 国内のみで通用する記録

WAへの申請は行わず、国際競技会への参加資格とはならない

○フィールド競技の試技時間【変更】(TR25.17)

従 来				変 更			
単独種目				単独種目			
残競技者数	走高跳	棒高跳	その他	残競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分	4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—	1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分	連続試技**	2分	3分	2分
混成競技				混成競技			
残競技者数	走高跳	棒高跳	その他	残競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分	4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—	1人	2分	3分	—
連続試技**	2分	3分	2分	連続試技**	2分	3分	2分
* 4人以上または各競技者の最初の試技				* 4人以上または各競技者の最初の試技			
** 単独種目・混成競技ともに、 <u>残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。</u>				** 単独種目・混成競技ともに、 <u>残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。</u>			

～変更の経緯～

【疑義】 高さの跳躍競技において、優勝が決まって1人になった競技者が連続試技にも該当した場合、1人の試技時間あるいは連続試技の試技時間のどちらを与えるべきか？

【結論】 競技者に不利にならない試技時間の与えるべき (WA見解)。従って1人の試技時間を与える。

○「やり」に関する表記【表現の統一】(TR38.5～38.13)

▷内容に変更なし

▷表現の統一、明確化、他の部分との整合

(従来) (変更)

握り → グリップ

穂先 → 頭部・先端部

令和5年度 審判講習会 小学生の競技規定

1. 年間事業予定(福井陸上競技協会の主催する大会)

月 日	大会 名	会 場	備 考
6月11日(日)	福井県小学生陸上競技春季大会	奥越競技場	
7月2日(日)	日清カップ福井県小学生陸上競技交流大会	三国競技場	福井県予選会
10月8日(日)	福井県小学生陸上競技秋季大会	敦賀競技場	
10月22日(日)	福井県駅伝選手権(小学生の部)兼ジュニアリレー競技会	敦賀競技場	日刊県民福井共催

その他、福井陸上競技協会が共催(後援)する市町陸上競技協会の公認競技会に以下のとおり適用

2. 競技種目

本協会が主催する公認競技会は、以下の種目を学年毎に設定する(男女別)

(学年欄の○印が参加できる種目)

	3年	4年	5年	6年	学年(5,6年)共通※ ₁
80m	○	○			
100m			○	○	
800m		○			
1500m			○	○	
80mH		○	○	○	
リレー		○	○	○	
混合リレー					○
走り高跳び			○	○	
走り幅跳び		○	○	○	
ジャベリックボール投	○	○	○	○	
コンバインドA※ ₂					○
コンバインドB※ ₃					○

※₁ 学年共通・・・5年生と6年生のみ参加でき、5, 6年一緒に競技を行う

※₂ コンバインドA・・・80mHと走高跳の2種目混成競技

※₃ コンバインドB・・・走幅跳とジャベリックボール投の2種目混成競技

3. 競技規則

3-0 原則

(一般財団法人)福井陸上競技協会(以下、本協会)が主催する小学生陸上競技大会、または市町協会において記録を公認希望される小学生陸上競技会では、その年度の(公財)日本陸上競技連盟競技規則に則り行い、教育的配慮のもと、本協会ジュニア委員会が定める以下の規則を優先して競技を行う。

3-1 トラック競技(80m・100m・800m・1500m・80mH)

- (1)学年の種目にしかエントリーができない。
- (2)スタートコールはイングリッシュで、80m(4年)・100m・80mHは※クラウチングスタート(※スターティングブロック使用有無は問わない)とする。
- (3)不正スタートを各自が2回行った場合は失格とする。
但し、レースには参加できるが、その記録は参考記録とする。
- (4)交流大会県予選会(全国交流大会種目)以外の競技大会は、タイムレースで行う。
- (5)スパイクシューズの使用を認めるが、スパイクピンの長さは9mm以下とする。
また、シューズ規則(=TR5)は適用外とする。
- (6)素足での参加は、危険防止のため認めない。
- (7)800m走は、スタートからオープンレーンで行う。
- (8)80mHの競技は、下表の高さ、インターバルで行う。

	スタート～1台 目ハードルまで	ハードル高さ	ハードル間の インターバル	台数	最終ハードル ～ゴールまで
5,6年	13m	70cm	7m	9台	11m
4年	13m	60cm	6m	9台	19m

3-2 リレー競技

- (1)交流大会県予選会(全国交流大会種目)以外の競技大会は、タイムレースで行う。
- (2)スタートはイングリッシュコール、学年別および学年共通リレー1走者はクラウチングスタート(スターティングブロック使用有無は問わない)とする
- (3)学年別リレーのエントリー登録は6名までエントリーできる。
- (4)学年共通男女混合リレーの参加登録は、男3名、女3名までエントリーできる。
なお、交流大会県予選会は、5年のみ、6年のみ、または5・6年混合の男女でチームを編成すること。
交流大会県予選会では、男女各3名エントリー登録しないと全国大会への参加資格はない
- (5)学年別リレーにおいて、異学年で編成されたチームの参加を認めます。そのチームは、メンバーの最上位学年でエントリーし競技を行う。
- (6)学年別リレーにおいて、男女混合で編成されたチームエントリーおよび参加は認めない。

- (7) 3年生のみで編成されたチームのエントリーはできない。
- (8) 学年別リレーと男女混合リレーの重複エントリーはできない。
- (9) 各大会において、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに「リレーオーダー用紙」を競技者係へ提出すること。
- 交流大会県予選会の決勝ラウンドの提出時刻は、決勝が始まる40分前とする。
- (10) 決められた時刻までに提出がない場合には、棄権として取り扱いとする。
- (11) オーダー用紙提出後の変更は、最終招集時刻(2次コール)までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認めない。その際、医務員の判断により選手の変更が認められた場合、提出した走順の変更までは認めないものとする。
- (12) オーダー用紙の書き方はジュニア委員会 HP「リレーオーダー用紙記入の仕方」を参照すること。

3-3 走高跳

- (1) 競技方法は、はさみ跳びしか認めない。
- (2) 各学年の高さは、下表のように設定し、各高さ3回の試技を行う。

学 年	練習	1	2	3	4	5	6	7	8※	その後、 3cm 毎 上げる
6 年	男	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42
	女	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m28	1m31	1m34	1m37
5 年	男	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	女	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m23	1m26	1m29	1m32

- (3) 競技者が目標記録以上で1人の時、県最高記録に挑戦するときは、バーの高さを競技者が決めることができます。この場合、指導者の助言を得ることができる。

3-4 走幅跳

- (1) 走幅跳は、3回の試技を行う。
- (2) 参加人数により2組に分けA・Bピットで試技を行う。
- (3) 審判長の判断により、パスラインを設ける場合がある。

3-5 ジャベリックボール投

- (1) ジャベリックボール投の試技には、ジャベリックボール NT5201(ニシスポーツ製)を使用する
- (2) ジャベリックボール投は、やり投げピットで3回試技ができ、助走は15m以内とする。
- (3) ジャベリックボール投は、次の行為を禁止する。
- 羽を持つての投てき
 - 回転投げ(自身が回転し遠心力をつけて投げる動作)

3-6 コンバインド競技

- (1) 学年共通、2種目の混合競技とし、5、6年生のみ参加を認める。
- (2) コンバインドAは80mHと走高跳、コンバインドBは走幅跳とジャベリックボール投

の2種目とする。

(3)コンバインドAとコンバインドBの重複参加は認めない。

(4)走幅跳、ジャベボール投の試技は2回とする。

(5)走高跳のバーは以下の表のように設定し、各高さ2回の試技を行う。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	その後、
男	1m10	1m13	1m16	1m19	1m22	1m25	1m28	1m31	3cm ずつ
女	1m05	1m10	1m13	1m16	1m19	1m22	1m25	1m28	上げる

(6)混成競技採点表に基づき、競技者が獲得した得点によって順位を決定する。

(7)80mHと走幅跳における風速は、得点・順位に考慮しない。

(8)100点以下の得点はすべて100点とする。

(9)スタートまたは試技を行い、参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)や記録無し(DNF/NM)、失格の場合は50点(参加点)とする。

(10)1種目でもスタートまたは試技しなかった場合は、棄権扱いとし0点とする。

(11)最初の種目を棄権した選手は、2種目には出場できない。

(12)2種目の合計得点で順位を決定する。2人以上の競技者の合計得点が同得点の場合は同順位とする。

但し、全国大会県予選会のコンバインドA・Bにおいて、同じ得点で1位が2人以上の場合は、コンバインドAは走高跳、コンバインドBは走幅跳の成績を優先する。これらの成績が同じ競技対象者の場合は、これらの競技で再試技※を行う。(詳細は監督会議で周知する)※再試技…走高跳はジャンプオフ、走幅跳は1回試技の成績(審判長等の判断によりパスラインを設定する場合がある)により順位決定する

3-7 駅伝選手権

(1)部門、選手登録等は大会要項を参照すること。

(2)出場資格は、福井県内に在住または在学し小学4～6年生とする。

(3)区間距離、コース等は陸上競技場発着とする。

(4)各部門、チーム記録の合計タイムで総合順位を決定する。

(5)選手や出走順の変更は、第1区がスタートする60分前まで認めます。

(6)アスリートビブスは1人2枚配布します。ユニホームの胸、背部に安全ピンで固定すること

(7)人や自転車等による伴走、飲食物の補給、その他の援助を行うことはできません。伴走及びそれに類する行為があった場合は失格とします。

(8)各部門上位6チームを表彰する。(賞状・副賞を授与する)

(9)2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに駅伝競走規程および本協会規定による。※競技用シューズの規則(TR5.2、TR5.5、TR5.13.3)は適用しない。

(10)新型コロナウイルス感染症による感染状況や社会的影響等により、大会要項が変更となる場合がある

《問い合わせ先》

福井陸上競技協会(ジュニア委員会 委員長) 村田 正行

E-Mail: fukuji_riku10@yahoo.co.jp

ジュニア委員会HP <http://jaaf-fukui-jr.sakura.ne.jp/>